

学 校 評 議 員 会 議 録

開催日時	令和5年5月31日（水）16：30～17：50		
会 場	北海道札幌東高等学校 校長室		
出席者数	学校評議員 5名	学校職員	4名
出席者名	山 口 龍 二 里 谷 彰 武 田 奈津子 酒 井 誉 介 川 上 敬	副 校 長 石 橋 栄 全日教頭 荻 田 英 樹 定時教頭 鷗 野 和 憲 事 務 長 中 村 由紀子	
会議次第・議事内容			
1 開会 2 委嘱状手交 3 校長挨拶 4 自己紹介 5 本校教育活動 (1) 本校教育活動の概要説明（副校長） (2) 全日制概況説明（全日制教頭） (3) 定時制概況説明（定時制教頭） 6 評議（感想、質問等の交換） ○自分がやっている劇団においては、リアルな話をするなど、自分たちで考えなければならぬ状況を作り、自分たちで考えさせるように取り組んでいる。 ○時間制限がある中で様々な取組を実施してることに感心する。授業時間等の確保も大変だろうと推察する。 ○新型コロナの影響で他者とのコミュニケーション能力が低下傾向。理解力、伝達力、職業人で言えば営業力を身に付けられる取組が必要だと思う。 ○決められたフォーマットでは話せても、応用できない者も増えてきたように思う。行動力と勇気を持たせることも必要。改めて「命が一番大切」を身に付けさせてほしい。 ○テクノロジーの発達が急速に進行。それを生かす知恵を学んでほしい。また、失敗しながら立ち直る中で得られるものも多く、意欲を持ち続けられる力を育ててほしい。 ○反転学習がどのくらい成立しているか知りたい。なかなか難しい状況なのではないか。 ○高校の段階でコンピテンシーを身に付けることについて、東高校が様々な仕掛けや機会を設けていることに感心する一方で、様々な経験や体験ができる学校環境であることが幸せなことであることを生徒に伝えてほしい。 ○学校に来たら「楽しい」という雰囲気づくり、自己肯定感を育む機会は重要。自分を大切にすること、さらに「命の大切さ」にもつながる。 ○進級できなかった生徒に、別の進路（通信制等）を提案することも優しさではないか。 ○生徒へ徹底的に寄り添うことが保護者対応にもつながる。 ○不登校にはそれぞれの生徒に個別の理由があるため、何か学校に楽しみがある、繋がりがあるということが改善の契機になりうる。 ○心理的安全性の確保（ありのままでいられること）のために、大人が聞く力をつけることが必要である。 7 連絡事項など (1) 校舎改築工事の概要について（事務長） (2) 令和5年度学校評議員会の開催時期について（副校長） 8 校長挨拶 9 閉会			
上記のとおり会議を開催した。 令和5年5月31日（水） 北海道札幌東高等学校長 藤井 一志			